



浦幌町長

みずさわ かずひろ
水澤 一廣

新年あけましておめでとうございます。輝かしい希望に満ちた新春をご家族共々お迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

顧みますと昨年は、浦幌中学校サッカー部が北海道中学校体育大会第46回中学校サッカー大会に出場し、みごとベスト8に、また、「トカチの地上絵」完成披露イベントには、多くのボランティア、町民が参加するなど明るい話題があった一方、北海道浦幌高校の存置に向け要請活動を行ってまいりましたが、募集停止になったことは誠に残念でありました。

さて、昨年の町内の基幹産業は、農業においては、春先からの天候はおおむね順調に推移しましたが、8月の高温による干ばつとなった地区も見られ、その影響は特に豆類に見られ小粒傾向となりました。

秋まき小麦は、7月の低温による登熟の遅れが心配されましたが、収穫は平年並みとなり、馬鈴薯、てん菜につきましても7月の低温による生育の遅延が見られましたが、平年並みかこれを上回る状

況で終えることができませんでしたことは、日々農業経営に携わる皆様の努力の賜と存じます。

しかし平成19年度からの品目横断的経営安定対策の導入により、厳しい農業経営を強いられるものと予想されます。

また、畜産においても、米国のバイオエタノール需要の急増などから市場価格が急激に高騰し、かつてない厳しい状況に直面しており、コスト上昇分は生産者の努力で吸収できる範囲にも限界があり、今後生産コストに見合う価格反映が求められるとあります。

漁業については、本町漁業の中心であります秋さけ漁が、過去最高の水揚げ額を記録し豊漁年となりました。

林業においては、若干ではあります木材市況で価格の回復傾向が見られるなど、本町の一次産業は総じて良とする一年であったと思えます。

迎えた新年は、都市と地方の格差が増し、地方を取り巻く環境は依然として先行き不透明で、厳しい財政運営を強いられるものと予想しています。

本町の町財政運営は、「第3次浦幌町行政改革大綱・行政改革集中改革プラン」に基づき無駄を省き効率的な行政改革や財政再建を議会や町民の皆様の協力をいただき、小さな明かりが見えてきたところでです。

しかしながら、国が進める三位一体改革や、新型交付税の導入等により不確定要素が多く予想され、更なる行政改革により事務事業の見直しをはじめ行政のスリム化、効率化を図る必要があります。町民の皆様のご理解とご協力を申し上げる次第であります。

本年も数多くの課題が山積してありますが、これ乗り越えるため町民の皆様、行政、議会と協働して邁進していかねばならないと思っております。

新春の門出にあたり、平成20年が皆様にとりましてご多幸で最良の年でありますようご祈念申し上げます、念頭のご挨拶といたします。



養護老人ホームで獅子舞を披露する小学生

年頭のご挨拶



浦幌町議会議長

たむら
田村

ひろくに
寛邦

明けましておめでとうございます。皆様には、平成20年の節目の輝かしい希望の新年を、ご家族おそろいで迎えられたこととお喜びを申し上げます。

昨年は、年明け早々、季節はずれの降雨に見まわれ、農業においては、小麦の冠水凍結による被害の心配や播付期の降雨による農作業の遅れ等、一昨年の二の舞かと心配をいたしました。

結果的には、夏の天候回復により作況は平年作以上の成果をもたらし安心をしたところでもあります。

しかしながら、その反面、平成の農政政策による品目横断的経営安定対策がスタートし農家経済は激悪の様相を呈しているのも現状であります。

また、漁業については、さけの豊漁・価格の安定から漁獲量および漁獲金額が増大し、林業に関しても地球環境問題と木材の需要と供給バランスの構築が形成されつつあるとの情報から底冷えから脱したかとの思いであります。

総体的に第一次産業は、まずまずの年であったと振り返っておりますが、商工

業については、依然として購買力の低下や雇用の低迷など、まだまだ厳しい状況であり安閑としている情勢ではないと感じております。

昨年は、安倍内閣が退陣し、福田内閣が誕生いたしました。国の行政改革や三位一体改革の中で地方と都市との地域間格差が拡大し、地方が大変疲弊している状況であり、厳しい財政運営をしている市町村は数多く、浦幌町もその例外ではありません。

本町は、早期の行政改革の断行に踏みきった事により、一步一步ではあります。が財政好転の成果が表われてきており、これは、ひとえに町民皆様の深いご理解と温かいご協力の結果であると感謝しているところです。

まだまだ、この厳しさが続く中ではあります。が、将来の浦幌町を見据えた時、守る姿勢だけが町の振興につながるのか、十分論議をする必要があると感じております。

今、まちづくり交付金事業で、本町の唯一の資源である留真温泉の再開発や産

業交流施設（道の駅）、町道改修事業がスタートラインに立ちました。

現実には、今後多くの検討課題が山積しており、町・議会・町民が一丸となつて十分な協議を重ね、更には、町内外を問わず、関係機関・関連企業のご意見等も参考にしながら慎重に進めていくことが必要であります。

議会が果たさなければならぬ役割は、町民が何を望み、何をしなければならぬかを十分検証し、町の行政運営が効果的に発揮されるようチェック機能の責務を全うすることであり、ます。

将来の浦幌町の振興のため、町理事者ととも真摯に厳しい時代を乗り越えるため議会活動に邁進して参る所存であります。町民皆様の一層の御理解と御叱咤を賜りますようお願いを申し上げます。

最後に平成20年が町民の皆様にとりまして、ご健勝で平穏な年であり五穀豊稔の年であることを祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

平成20年

しらかば保育園もちつき大会でもちを丸める園児たち